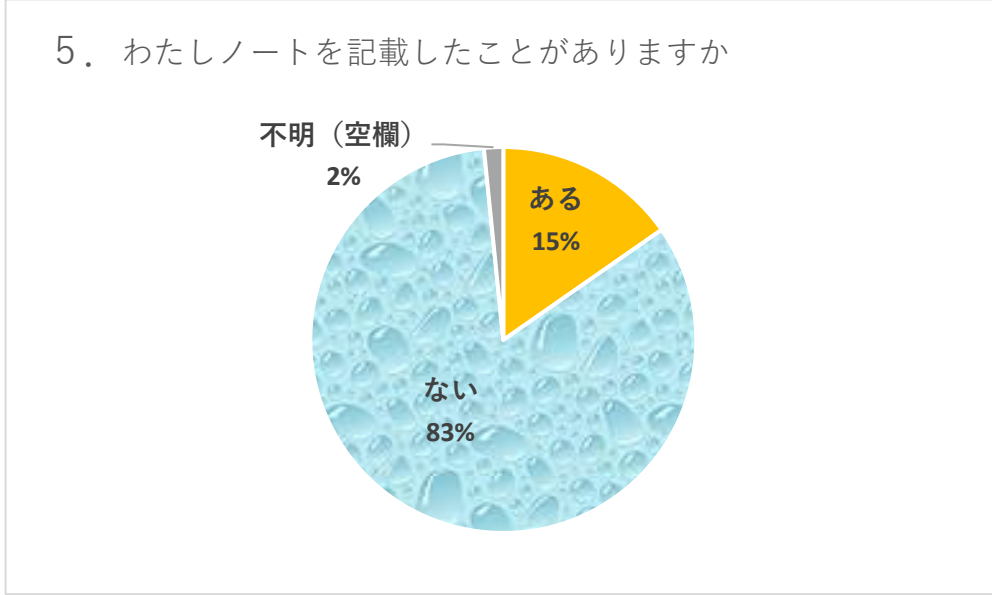
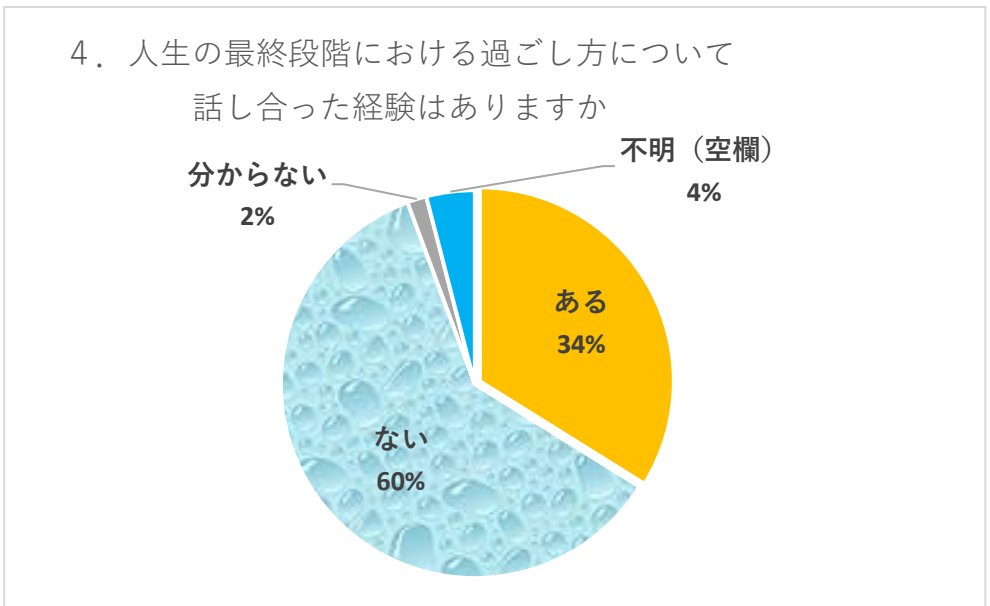
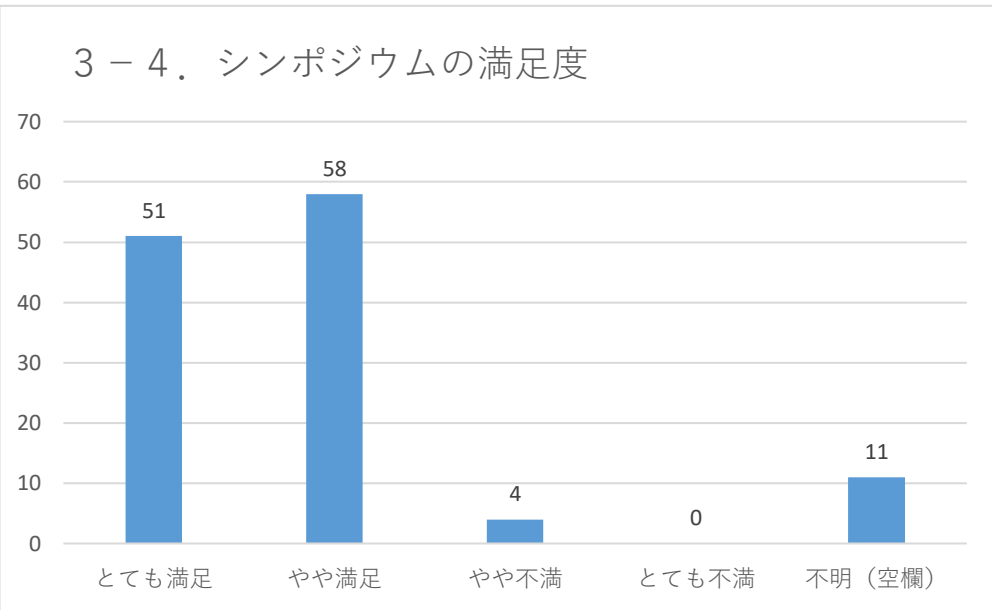
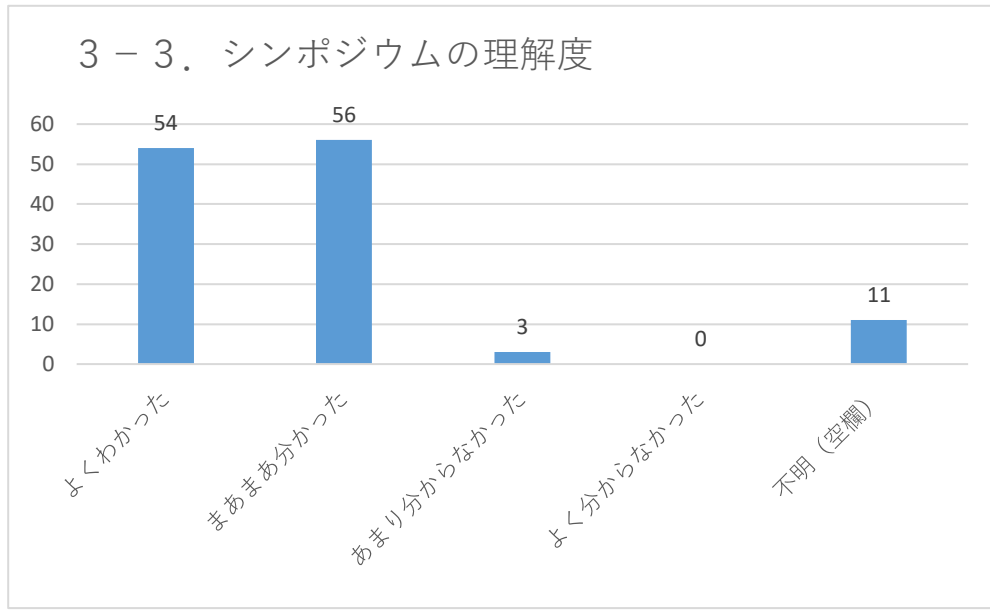
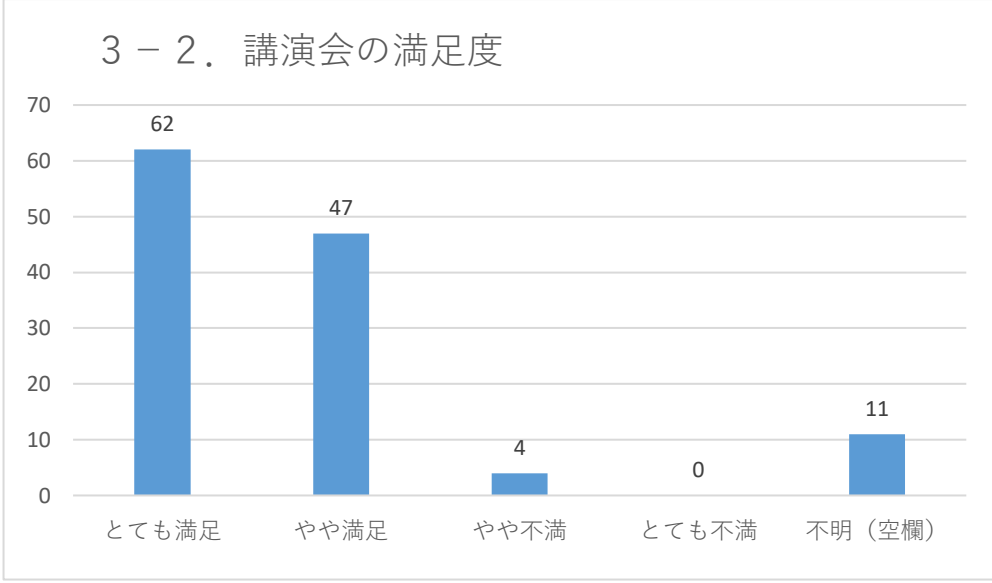
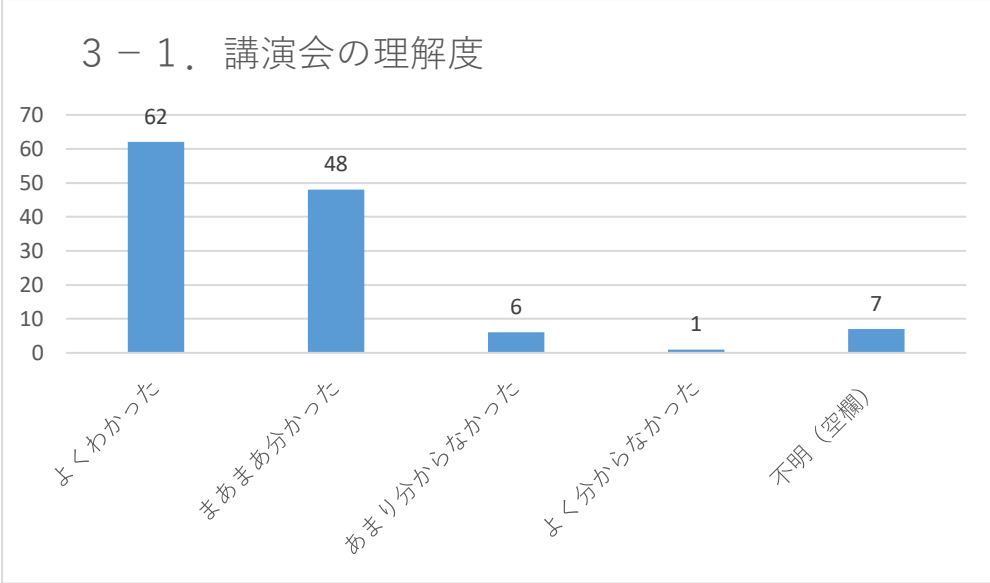
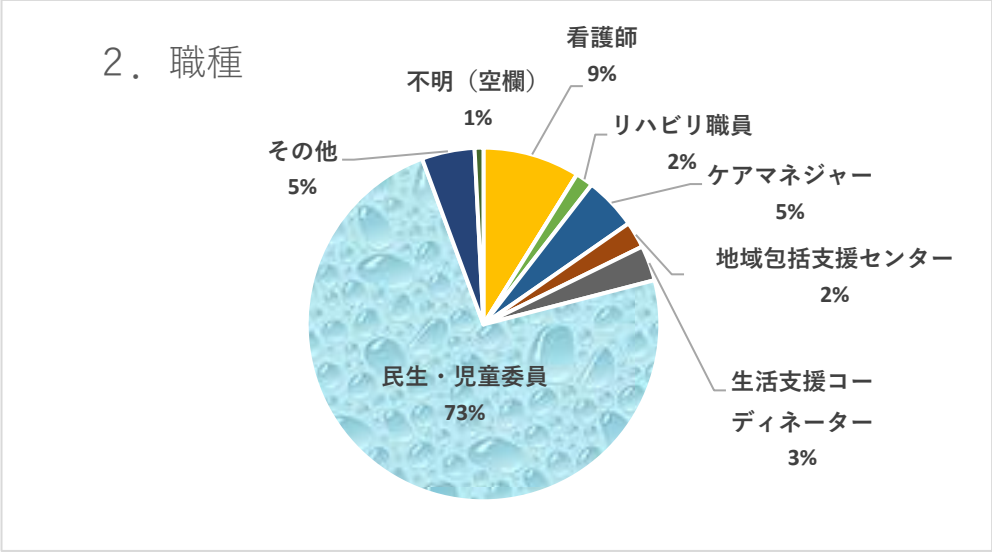
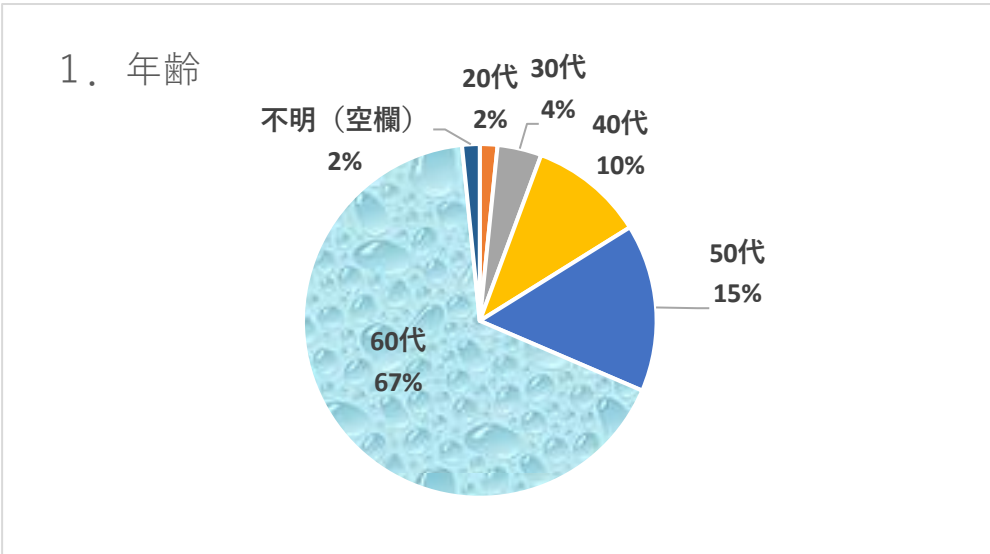
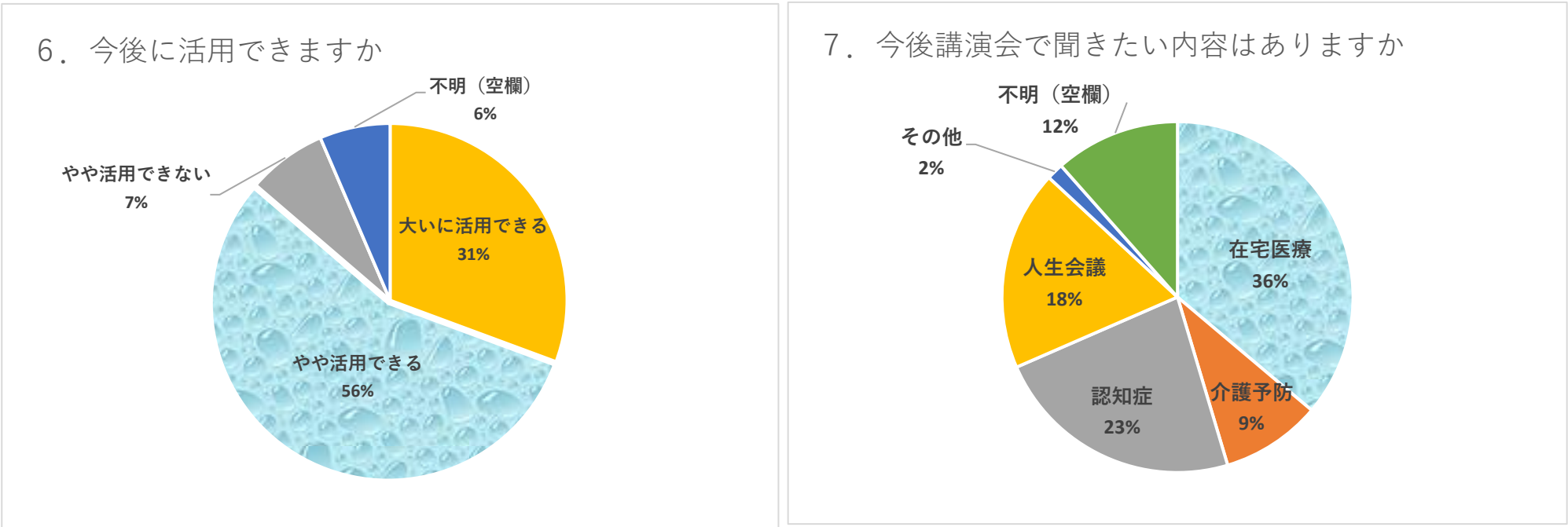


地域包括ケアフォーラムアンケート結果

資料 2 - 3

研修名：地域包括ケアフォーラム  
開催日：令和 4 年 1 1 月 1 2 日（土） 午後 1 時 3 0 分～午後 3 時 3 0 分  
場 所：へきしんギャラクシープラザ マツバホール  
参加者：1 2 6 名 アンケート回収数 1 2 4 枚 回答率 9 8. 4 %





6. 今後に活用できますかについて（具体的内容）

「わたしノート」を書いて病院、施設等の人達にどの時にみせるのか?あらゆる場所との連携はどのようにするか?サルビー見守りネットとの連携は?エンディングノートとの違いを説明するのが難しい。

シルバー人材センターの会員にPR

まずは、両親など、目上の身内に進めてみたいと思います。

わたしノートは亡くなった後は残された家族の宝物になると思います。ただ、本人・家族の書く気持ち次第なので強要はできない。

わたしノートを一度書いてみたいと思う

一人暮らしの高齢者の方にとって、わたしノートを活用することで今後の生活に対しての希望をもってもらうような、ツールとして使用していきたい。

自分というより、親の事を考えてみたが、大切な事だけど悲しくなってきたので...難しいな、と感じた

数年前に両親を見送ることになったとき病院での治療についての希望を書くことがあったが、その時、本人がどう思っているか聞いたことがなかった。そのようなとき「わたしノート」があれば良かったと思ったのでこれから役立つと思います。

本人だけでなく家族もノートを有用と思ってくれないとなかなか一緒に真剣に書くことができないので、元気に忙しく生活している間は意外と難しい。家族にも日々小出しに必要性を話していくことから始めたい。

本人と家族との話し合いで相互が納得できる答えが出るだろうか?半年、1年、2年・・・話し合い出来れば徐々に、どちらかの希望に沿え、納得できれば相応に幸せな人生になるんでしょうね。そうできたら。それが活かされたら良い!「仏作って魂入れず」にならないように。ですね?

8. ご意見・ご感想

CMや包括が関わっていない高齢者へのわたしノートの活用事例をもっと聞きたい。地域視点での活用事例が集まったら聞きたい。

いろいろな職種の方から見たご意見を伺うことができて良かったです。どうもありがとうございました。

サルビー見守りネットとは?もしばなゲームとは?

サロンなどで、みんなと書いていけると良いデス。人まかせでなく、自分でわたしノートを書くのが大切

とてもよいシンポジウムだったと思います病院～訪問看護など、それぞれの職種からお話がきけてよく分かりました。もっと若い人にも広めたいと思います

わたしノートを使用し医療現場につながった体験の人からの講演があると影響があると思います。ありがとうございました。

はじめてわたしノートの意味、役割りを知る事が出来た

ひとり暮らしの方に「わたしノート」を書いているか、様子を見て確認してすすめてみたいです。

まずは、70代の方からわたしノートを配布し、記入をしていただく。

わたしを福祉委員会・各町内会等へ民生委員一人暮らし希望者に配布してほしい

わたしノートとエンディングノートのちがいがよくわかり本人の気持ちを大切にしたい最期を送ることができるためのノートの活用がうまくできるようないろいろな立場の人が取り組んでいることの大切さを感じました。

わたしノートの作成の(一緒に話し合いながらの作成) 具体的イメージが浮ぶ事例などがあれば、又講演の機会に教えて下さい。

わたしノートの存在が、まだまだ周知されてないように思います。いろいろな所(特に高齢者の集まる所)で、若い人にも知らせるよう民生委員としても努力していきたい。

わたしノートは以前より知っていたが活用出来ていない為活用して行きたいと思います。

わたしノートを持っているかどうかについて救急された時、入院した時Hp側で聞きとりしてもらえれば活用の方が広がると思います。

医療、福祉介護の仕事をしていないと、「わたしノート」を知る機会がない(少ない)。「もしものとき」を考える意識にならない。

話し合うことは大事だと思うので、根気強く周知活動をしていく必要がある。働く世代(企業等)への働きかけ、意識啓発して行くことも大切だと感じた。

医療の現場は忙しそうで、私たちの気持ちを尊重してくれるとは思えないです。そこが不安のポイントだと本日、自分で気づきました。

一部でマスク下でのお話しではっきり分からない言葉もありました、残念です。パネルを使用し、マスクなしでのシンポジウムであったらと思います。

家族の為になることが多いと知ることが出来て良かったです。

介護が必要になった時の流れを知らない方が意外といいます。申請を含めた流れ、どこに相談するかなど広めていただけたらと思います。

記入はボールペンorえんぴつですか。8.9ページは高齢者に不必要な気がします。

元気な時に話し合うのが大切だと再確認できました。民生委員では、一人暮らしの高齢者には家族の事もよく知らないのですこまでは話し合えない。

相談をされたら対応する(わたしノートを書くことは、すすめる)